

平成30年度 第2回広尾町教育委員会会議録

- 1 日 時 平成30年6月1日（金）
午後1時30分～
- 2 場 所 コミセン第2会議室
- 3 委員の出欠席 出席 中村委員、武藤委員、大森委員、石山委員
欠席
- 4 教育長の出欠席 出席
- 5 出席した職員 管理課長、管理課長補佐、学校給食センター所長
社会教育課長、社会教育課参事
- 6 町民憲章朗読
- 7 開 会
- 8 議 事

教育長(13:30)

＞ これより平成30年度第2回の教育委員会会議を開催いたします。
＞ 早速ですが、議事に入ります。始めに日程第1、報告事項1の会議及び諸行事報告と、
2の平成30年度要保護及び準要保護児童生徒の認定についての2件を一括して事務局より説明願います。

管理課長

＞ それでは報告事項1、会議及び諸行事報告をさせていただきます。4月24日から5月29日までの報告であります。

（議案1～2頁により説明）

＞ 以上、教育委員関係の会議及び諸行事を報告させていただきました。3頁から4頁の事務局職員関係については説明を省略させていただきます。

＞ 続いて5頁をお開きください。報告事項2の平成30年度要保護及び準要保護児童生徒の認定についてであります。別冊で配布した平成30年度要保護及び準要保護児童生徒の認定資料をご覧頂きたいと思います。いわゆる就学援助を認定するにあたって、認定要件を満たしているものについて教育長専決で認定いたしましたので報告します。

はじめに1頁「要保護認定」ということで、つまり生活保護受給者ですが、今年度は3

世帯で、小学生が3名、中学生が1名の計4名となっています。昨年に比べ、件数・世帯数では1世帯の減ですが、人数では小学生が同数、中学生が1名の減となっています。

続いて2～7頁の「準要保護認定」ですが、今回認定件数が55件で、うち継続が51件、新規が4件、小学生が37名、中学生が36名の、合わせて73名となっています。8頁に経年の推移の資料を今年度から新たに付けています。先ほど説明したとおりの内容となっています。こちらを見て頂くと分かるのですが、昨年度と比べると件数では4世帯の減、小学生は11名の減、中学生は4名の増となっています。

全校児童生徒に対する割合ですが、現在認定が確定しているものだけで見ると、小学生は13.4%で昨年度に比べ3.9%の減となっております。中学生は21.2%で昨年と比べて2.4%の増となっています。

認定要件の中で認定件数が最も多いのは、児童扶養手当を受給している、いわゆるひとり親世帯が37件で67%となっています。町民税非課税世帯が7件で13%、収入が生活保護基準の1.5倍以下の世帯が3件で5%、国民年金の掛金免除の世帯が8件で15%となっています。また、児童扶養手当受給世帯は昨年度と比較して4件の減となっています。町民税非課税では2件の減、生活保護基準1.5倍以下は1件の減、国民年金掛金免除の世帯が3件の増となっています。

報告事項は以上であります。

教育長

＞ それでは、ただ今の報告2件について説明をさせていただきました。これらについて質問等お受けしたいと思います。何かございますか。よろしいでしょうか。（各委員「はい」）

＞ それでは諸行事の関係で私の方からお話しをさせてもらいたいと思います。ふるさと会の帯広広尾会の方から、同会が創立30年を迎えるということで、その記念とあわせまして広尾町も150年ということで30万円の寄付を5月18日の総会の時に町長が受け取っております。そしてその一部を活用させて頂きまして5月26日のつつじまつりの日に大丸山のサンタハウスのステージの前にプンゲストウヒというクリスマスツリーによく使われる木なんです。それを1本、広尾小学校と豊似小学校の子ども達5人と一緒に植栽をさせて頂いたところであります。当日は帯広の方から橘会長を含め多くの会員の方にもご出席を頂いたところであります。あと、翌日の27日に広尾中学校の体育祭が行われました。中村委員さんと武藤委員さんにもお越しいただきました。例年になく良い天気の中で、体育祭が開催されました。明日が豊似小学校、明後日が広尾小学校の運動会となっておりますので、ぜひ子ども達の頑張る姿を見て応援をして頂ければと思います。

＞ それでは報告事項1と2を終了させて頂きます。次に日程第2、議案第5号「平成30年度準要保護児童生徒の認定について」を議題とします。事務局から説明願います。

管理課長

＞ 議案第5号「平成30年度準要保護児童生徒の認定について」です。この議案については、準要保護の認定要件、こちらは収入状況が生活保護基準の1.5倍以上の方は認定要件に該当しないため、教育委員会にお諮りするものです。審議のほどよろしく願います。

教育長

＞ いま、６件に関わる案件で説明をさせて頂きました。説明ありましたように６件とも特別な認定要件が無いのと、収入基準の１．５倍を超えている世帯ばかりということでありますので、認定はしかねるということですが、委員の皆さんで何か５件の中で特別な事情があるとか、そういった情報、あるいはお聞き及び頂いていることがあれば、説明等お話しただいても結構ですけれどもどうでしょうか。何かございますか。

よろしいでしょうか。（各委員「はい」）

では、本件につきましては認定しないということで承認とさせていただきます。

＞ 次に日程第３、議案第６号「平成３０年度学校評議員の委嘱について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

管理課長

＞ ８頁をお開き下さい。議案第６号「平成３０年度学校評議員の委嘱について」であります。この度、学校から学校評議員の被推薦者があがってまいりました。９頁をご覧ください。まずは広尾小５名のうち新たに委嘱する方は城山美津枝さんでありまして、その他の４名は昨年度に引き続き委嘱したいとするところです。

広尾中におきましては５名のうち、新たに川津和子さん、大林勝則さんが新たに委嘱ということになります。その他３名は引き続きの委嘱ということであります。

また、豊似小学校においては、昨年に引き続き３名を委嘱したいとするものです。

委嘱年月日は７月１日、委嘱期間は７月１日から本年度末までとしています。なお、委嘱状については第１回目の評議員会開催時に各校長より交付することとしています。

＞ 以上です。

教育長

＞ それでは、この件について質問等お受けします。何かございますか。よろしいですか。

（各委員「はい」）

それでは、この方々に委嘱をさせて頂くということで、本件についても提案のとおり承認とさせていただきます。

＞ 次に日程第４、協議事項１「平成３０年度一般会計補正予算（第３号）について」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。

管理課長

＞ それでは１０頁をご覧ください。協議事項２「平成３０年度一般会計補正予算について」教育費に係る補正予算です。議案の１２頁をご覧ください。

初めに歳入であります。２０款町債、過疎対策事業債として豊似小学校整備事業債を５７０万円増額するものであります。机、椅子等の備品に係る過疎債の追加認定によるものであります。

次に１３頁をお願いします。歳出であります。今回は４月１日付人事異動での人件費の調整による補正が主であります。人件費の補正については説明を省略させていただきます。

次に１４頁をお開き下さい。４項、１目、幼稚園費の共済費であります。負担金率の改定による退職手当組合負担金、公立学校共済組合負担金の調整であります。あと、１９節の負担金補助及び交付金であります。今年度をもってひろお幼稚園は合併により認定こども園となり、閉園となります。閉園記念事業協賛会交付金を５０万円補正するものであります。なお、閉園式は平成３１年２月を予定しております。

社会教育課長

＞ 社会教育費について説明いたします。

５項、１目の社会教育総務費ですが、修繕料を計上させて頂いております。文化財標柱建替ということで、音調津の駅通跡という標柱が強風で倒れてしまい、建替をさせて頂きたいということでの計上であります。３目の図書館・児童福祉会館管理費ですが、図書購入費として指定寄付がありましたので、今回計上させて頂きました。４目の海洋博物館・伝習館費ですが、避難誘導灯の予備電源について、点検業者から交換の指摘がありましたので、今回計上させて頂きました。次の頁、６項、１目の保健体育総務費ですが、報償費につきましては１２頁の歳入の雑入に公共スポーツ施設等活性化助成ということで１００万円の助成金が頂けることになりまして、今回計上させて頂くものです。１６頁に戻りますが「体力づくり事業謝金」としてインストラクター派遣事業の形で見ているものであります。これは、青少年会館に体力づくりの機器が置いてありますが、派遣事業者にお願いをして、そこに新たに大型の機械を置いて冬期間、町民の皆さんに体力づくりをして頂くということで、インストラクターとなる指導員を付けて、その機械の使用法なり、機械を使わないトレーニングの指導なりをしてもらいたいということで、今回提案させて頂いたものであります。１００万円の補助ですので、実質２９万６千円の町負担をお願いしたいというものであります。続きまして２目の体育施設費ですが、まず修繕料は、誘導灯の本体取替ということで、これにつきましては勤労者体育センターの渡り廊下についている避難誘導灯の修繕が必要ということで点検で見つかったものでありまして、バッテリーの交換が必要なんです。バッテリー自体がすでに作られていないということで、本体ごと交換が必要という内容であります。次に委託料であります。豊似プールのろ過装置の保守点検、これにつきましては保守点検のプラスの部分がありましたので、足りない分の委託料を計上させて頂いております。次の工事請負費であります。これは勤労者体育センターの屋根の一部が風で飛んでおりまして、穴が空いている状態で、そこを直さないと拡がる可能性があります。危険だということもありますので、改修させて頂きたいという内容であります。次の３目、野外活動施設費ですが、キャンプ場の上段の炊事場が、水を出すたびにポンプでくみ上げているんですが、そのポンプに不具合が生じまして、作動していない、水をくみ上げても止まらない状態になっているものですから、それを直させて頂きたいということでの計上であります。以上です。

管理課長

＞ 以上、この６月議会に提案する教育費に係る補正予算であります。

教育長

＞ それでは、今、説明させて頂きましたこのことについて、何かご質問等ございますか。

大森委員

＞ ひとつ質問してもよろしいですか。16頁の保健体育総務費のところでご説明頂いた件なのですが、青少年会館に大型の機器を導入するということですが、具体的にどんな機器が導入されるか決まっていますか。

社会教育課長

＞ 決まってはいいんですが、（具体的な話は）予算がついてからということで、聞いたところでは、帯広から持ってくるんですが、ルームランナーのようなもので、1台で色々なことが出来る複合的な機械を想定しています。大き目の機械を持って来て頂いて、インストラクターを付けて1日10人ぐらいを目途に週3回やって頂けるということなので、冬期間に4か月間ぐらい実施する予定です。

大森委員

＞ 何台持ってきてもらうんですか。

社会教育課長

＞ 1台では足りないと思うので、2～3台期待しているんですが、そんなに沢山は持ってきてもらうことはできないのかなと思っています。

大森委員

＞ 曜日を決めてインストラクターの方についてもらうということですか。

社会教育課長

＞ はい。機械だけでなく、機械を使わない指導も受けてもらうことを想定しています。

大森委員

＞ 今はそういうことをされていますか。

社会教育課長

＞ 今は指導員を付けてという形ではやっていません。アクアエクササイズという事業があるんですが、プールでやる運動ですが、それではやって頂いています。夏場はそちらなので、これは冬場の運動のための事業として計画しています。

大森委員

＞ 今、広尾町では実際に運動機器といいのはどれくらいの設備がありますか。

管理課長

＞ ルームランナーと自転車が2台ずつぐらいあります。

武藤委員

＞ 期間は１２月ぐらいからですか。

社会教育課長

＞ １２月から３月までか、１１月から２月までか、そんな感じですか。人が集まるか不安もあるんですが、何とか沢山来て頂ければ。

大森委員

＞ ＰＲも必要ですね。

社会教育課長

＞ そうですね。

大森委員

＞ インストラクターは契約ですか。

社会教育課長

＞ そうです。それを含めた派遣事業ということです。

大森委員

＞ この運動機器はリースとかではないんですか。

社会教育課長

＞ インストラクターの派遣に合わせて、機械込みでお願いするものです。

大森委員

＞ 機械は町が買い上げるのですか。

社会教育課長

＞ いえ、会社の物を貸して頂くことになります。インストラクター付きで借りる形になります。

大森委員

＞ じゃあ、お金を出して町の物になるということではないのですか。

社会教育課長

＞ そういうことはありません。

大森委員

＞ どれくらいの期間借りていただけるんですか。

社会教育課長

＞ 通常 4 か月です。

大森委員

＞ 4 か月分でこの金額ということですか。

社会教育課長

＞ はい。インストラクター付きでこの額ということです。インストラクター分で 1 日に換算すると 2 万 5 千円ぐらいの金額で積算させてもらっています。

大森委員

＞ そしたら、4 か月たったら機械はお返しするということですか。

社会教育課長

＞ はい。

大森委員

＞ なるほど。それはどうなのかというのはちょっと分からないですけども。

社会教育課長

＞ 機械は簡単に変えるような金額ではないと思います。

大森委員

＞ じゃあ、この先、継続できるかどうかというのはどうですか。

社会教育課長

＞ また、来年になって補助が付けばという話になるのかなという気がしています。

大森委員

＞ そうですか。分かりました。

教育長

＞ よろしいですか。そのほか何かございますか。よろしいですか。（各委員「はい」）

それでは、この件についても提案のとおり承認とさせていただきます。

＞ それでは同じく日程の第 4、協議事項 2 「北海道市町村教育委員研修会への参加について」を協議いたします。事務局より説明願います。

管理課長

＞ １７頁をご覧頂きたいと思います。今年は７月１２日に札幌市教育文化会館で開催されることとなっています。一日日程でスケジュールはご覧のとおりです。

現在のところ広尾町出発は開催日前日の１１日の午後１時頃を予定しています。この研修に合わせまして、先進地視察も行いたいと思っております。場所は未定であります、二泊し、帰りは１３日の予定であります。及川課長補佐が随行する予定となっております。

宿泊等の手続きもありますのでこの場で参加の有無を確認したいと思います。今確認できなければ、後ほどご連絡を頂ければと思います。よろしくお願いします。

教育長

＞ 例年行われております、教育委員さんの研修会であります。日程等こういう形で今年はやらせて頂きたいと思えますけれども、今わかる範囲で皆様のご都合はどうでしょうか。

大森委員

＞ １１日と、１４、１５日は別件があるので、ちょっと厳しいかなという感じです。せっかく２日間の研修なので残念ですが。

中村委員

＞ 何も予定がないので行きます。

武藤委員

＞ 大丈夫ですが、行きだけは別で行きます。

石山委員

＞ １２日に申込み中の別な用件がありまして、その予定が決まったら行けません。

教育長

＞ はい。それでは今のところお二方と私ということであります。４年に１度、全国の研修に行かせて頂いていたんですけれども、町の財政が厳しいということで、道外研修については難しいものですから、今般、１日増やして道内の先進地にでも行ければということで、説明させて頂きましたように２泊３日で行かせて頂こうということでもあります。よろしくお願いします。それでは、この件についてはよろしいですか。（各委員「はい」）

＞ それでは最後、日程第５、その他、協議及び報告事項ということで、何かありましたらお願いします。

管理課長

＞ 皆さんに本日、ご案内の文書を差し上げているんですけれども、コミュニティ・スクールの２回目の熟議を６月２２日の午後７時からコミセン大ホールで開催する予定となっております。１回目の熟議を受けて、「目指す広尾町の子ども像」について、地域の皆さんと教職員の皆さんで話し合いをして頂ければと思っております。ご出席方よろしくお願いします。

教育長

＞ よろしくお願ひしたいと思ひます。そのほかありますか。

管理課長補佐

＞ それでは、私から3点ほど情報提供をさせていただきます。1点目は、今日お配りした資料の中に「総合教育会議の日程調整」という紙があるかと思ひます。毎年実施している総合教育会議ですが、今年は6月中旬から7月上旬にかけて実施したいと考えております。別紙の日程調整表で5つほど候補日を示させていただきますので、今日すぐにご都合が分かる場合はお帰りの際に記入した日程調整表を回収させていただきますのですが、持ち帰ってということであれば、来週中を目途に報告をお願ひしたいと思ひますので、よろしくお願ひします。次、二つ目ですが、「南十勝女性教育委員研修会の開催について」というものをお配りしております。こちらは、昨年度から、南十勝4町村の女性教育委員の皆さんが研鑽を深めるために自主的な研修会を各地で開催しておりまして、広尾町からは大森委員が参加しているところであります。今年の2月に広尾町で研修をされて、前回の教育委員会会議において大森委員からその研修内容について報告があったところであります。

今年度の第1回目の研修会が6月25日に中札内村の委員さんの担当で、足寄町の学校給食センターの視察をされることになっています。今のところ女性の委員さんが中心の研修会となっておりますので、男性の委員の皆様にはこういった活動を行っていることをお知りおき頂きたいということと、今後はもしかしたら男性・女性に関係なく参加できるような研修会になるかもしれないということも聞いておりますので、よろしくお願ひします。最後にもう1点ですが、「平成30年度北海道町村教育委員会連合会功労者の被表彰について」ということで、これも毎年、連合会が行う功労表彰なんですけど、今年度、大森委員さんが委員在籍12年以上ということで該当されまして、このほど受賞が決定したので、皆さんにもお知らせしたいと思ひます。こちらの表彰なんですけど、先ほどありました7月12日の研修会の時に表彰されるということですので、大森委員さんは出席が難しいということなんですけど、こちらもお知らせしたいと思ひます。以上です。

教育長

＞ はい。今4件ほど報告事項のお話しがありましたが、このことについて、何か質問等ございますか。よろしいですか。（各委員「はい」） それでは、これに絡めて私の方からお話しをさせていただきます。実は今度の第2回定例町議会におきまして、前崎議員さんから小中学校教員の勤務時間の実態についてということで一般質問を受ける予定になっています。今、このことにつきましては、学校における働き方改革ということで、文科省、あるいはスポーツ庁など国の方からも教職員の働き方について色々な検討がされてきているところであります。そして、それらの国の動きを踏まえまして、道で「北海道アクションプラン」というものを立てております。これに準じて各市町村でもそれぞれ働き方改革に関する推進計画を立てるというふうになっております。うちの方も今、一生懸命、推進計画を策定中であります。管内でも帯広市あるいは芽室町あたりでは先進的に策定がされているんですけれども、どうしても中身が細かな事項、例えば学校の閉庁日ですとか、部活も週

1日は休養日を設定する、それに加えて月に1日以上は土日祝日に休養日を設定するだとか、細かな内容が含まれております。それは各市町村教育委員会の策定の仕方なんですけれども、ただ、統一的には平成32年度を目途に教職員の働き方改革を推進していこうという、今その最中であります。それで、いま策定中のこの推進計画をできれば次回の総合教育会議の中で町長を含めて、説明やらお話しをさせて頂きたいなと思います。委員の皆さんには出来た時点で事前にお示しをさせて頂きたいと思っております。正式には教育委員会会議の中である程度決定をして進めていきたいという状況でありますので、よろしくお願いします。あと、もう1点、先ほど話のあった、南十勝の女性教育委員さんの研修会、これまでも積極的に色々なところで開催をして頂いております。そういった中で、実は中札内村の前の教育長、上松さんが勇退されるときに私のところにご挨拶に見えられまして、その時にちょっと触れていたのが、今、女性委員さんが一生懸命活動してくれているので、できれば、南十勝の教育振興会の中で少し予算的なものを計上してあげれば、より動きやすいのかなと、そういうご相談を受けております。これは何らかの形で私の方から提案をしたいなと思っておりますので、また女性委員さんとお話しをさせて頂く中で、折を見て予算付けの要請をしていきたいなと思っております。ただ、大森さん、先ほど説明があったように、女性に限らず男性も交えた中で活動していきたいというお話しもされてきているので、そうなってくると女性ばかりでないということになってくるので、何かの研修予算でとったほうがいいのか、それとも、やっぱり女性委員さんだけで、今までのように色々な活動をしていくということであれば、名目をきちんと女性委員さんの活動費として予算付けするか、今度女性委員さんが集まった時にでも投げ掛けて頂けますか。

大森委員

＞ありがとうございます。実際に話は女性だけに留まらずということで、方向性はすでに出ていまして、それがどういう形になるか分かりませんが、なるべく強制的にやるのではなくて、共通の目的意識を持った方々の集まりという、そういう形になっていければいいねというところの話まではいっています。予算を付けて頂ければ云々というところまでは話していないので。

教育長

＞それが叶うかどうかは分かりません。限られた予算の中でやるものですから。十勝管内の女性委員さんの統括的にそういう活動みたいなのが出来るような組織がこれから出来ていけばいいなという思いもあるんですけども。まあ、だれが音頭をとるかという話にもなるんでしょうけれども。

大森委員

＞大変前向きな良いお話しで、ありがたいお話しだと思うんです。ただ、今、私たちは結局、皆さんお仕事を持ってらっしゃる方が多いので、その中で、委員会以外で活動するというのがぎりぎりの状態で、大体いいところ年3回、多くて4回、それでもかなりきついねという感じでいるところなので、また一つの大きい組織が形作られるとなると、物理的に大変になっていくのかなというようなところもありまして、そうすると本来の私たちの

活動が大変しづらくなってしまうかなというところもちょっと考えられると思いますので、そのあたりも話に出したいと思います。

教育長

＞ ちょっと内部で協議してみてください。あまり膨らんでしまうと予算の出し方も変わってきてしますので。その辺も合わせて、今後の方針も含めて協議をして頂ければと思います。

大森委員

＞ 分かりました。

教育長

＞ よろしく願いしたいと思います。ほかにありませんか。あと、コミュニティ・スクールですよね、熟議をやるということですが、どうですかね。教育委員さんでもう1度コミュニティ・スクールについて、コーディネーターもおりますので、勉強する機会があれば。きっと教育委員の皆さん、あちこちからコミュニティ・スクールについて聞かれたりするのかなと思います。必要があれば（コーディネーターが）身近にいますので、熟議の前にでもそういった機会が用意できれば日程を組んで、少しの時間でもいいので、話を聞いて、皆さんで共通理解して熟議に臨んだらいいかなと思います。またご案内しますので、よろしく願いしたいと思います。

＞ それでは、これで全件終了しましたけれども、これで終了してよろしいでしょうか。（各委員「はい」）以上を持ちまして第2回の教育委員会会議を終了させていただきます。ご苦労様でした。

（14:20）

この会議録は、平成30年6月1日に開催の教育委員会会議の確定に基づいて作成した。

（平成30年8月2日調製）